

## 競技上の注意（個人戦）

審判長：八百野 真人

### <ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 タイムアウト制を採用する。ただし、1 マッチに1 回、1 分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、2022 年度登録の日本卓球協会ゼッケンを着用する。
- 4 新型コロナウイルス感染症対策として、本大会は次の事項を設ける。
  - (1) ベンチにアドバイザーは入れない。
  - (2) 試合前後の握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
  - (3) チェンジエンドは行う。
  - (4) 複数コートของボールの混在を避ける。  
(ボールが競技領域外に出た場合、選手自身で拾いに行き、他コートの選手等が拾わない。)
  - (5) 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
  - (6) 競技中以外はマスクを必ず着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。

### <進行について（別紙1・2）>

- 1 タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。  
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 第1試合の審判は別紙記載の選手が行う。以降は、敗者審判による。

### <県大会出場決定戦について>

- 1 本戦トーナメント2回戦で敗戦した選手を対象に、県大会出場決定戦を実施する。
  - ア 男子シングルス（県大会出場決定戦における枠数 男子：16名）
    - (1) 第1ステージで1試合実施して64名の中から32名の勝者を抽出する。
    - (2) 第2ステージで(1)の勝者32名から、1試合行い16名の勝者を抽出する。
  - イ 女子シングルス（県大会出場決定戦における枠数 女子：16名）
    - (1) 本戦2回戦の敗者32名から、1試合行い16名の勝者を抽出する。
- 2 5ゲームマッチ3ゲーム先取とする。
- 3 対象者は、本部にて本選の結果処理および敗者審判後、決定戦本部席で参加確認を行う。
- 4 決定戦により、県大会出場の権利を得た場合、決定戦本部席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 5 第1試合の審判は本選の敗者が行い、以降は決定戦本部席にて指定する。